



『大分のスポーツ振興について』

プロ球団がジュニアスポーツの聖地（拠点）を作り、育成と振興を図り、成人と高齢者の健康作りに努めるべきである。

（拠点の役割）

- ・キッズスポーツの入口、ジュニアスポーツの聖地、拠点としての役割
- ・成人、高齢者の健康づくりの拠点としての役割
- ・花公園、スポーツパークに県内外から人が集い地域活性化としての役割
- ・野球、バスケットボールのプロスポーツの本拠地

ニコボックス

★片山 勇様 (1口) 1/17 (月) ニコボックスつづき

地区の職業奉仕委員を仰せつかっています片山です。今月1月より50周年式典に間に合うタイミングで、当初の予定通り古巣大分臨海ロータリーに移籍（復帰）しましたので今後共よろしくお祈りします。

当地区では昨年の熊本、大分をつないでのハイブリッドセミナーに続き、今年度もオンラインにて職業奉仕セミナーを行いました。いつでも地区のウェブサイトから、半永久的にご覧いただく事ができます。まだご覧になっていない方は、昨年分も合わせてご覧ください。尚、OKEクラブに於いても年末2回に分けてオンライン卓話として掲載しています。

その他OKEクラブは、充実した卓話を沢山掲載していますので、是非サインマークアップなどなさらずにOKEクラブへのマークアップおよびサポーター登録をよろしくお祈りします。スマイル1口いたします。

★河野 聡会長 (1口)

今日は、私の事務所で研修中の司法修習生を同行しました。将来東京で弁護士になったロータリークラブに入ってくれるように願っています。

★高野 太会員 (1口)

本日、ゲスト卓話に来て頂いた大分B-リングス代表取締役社長に感謝して一口。

★菅原 直美会員 (2.5口)

先日は、たくさんのお気持ちをありがとうございました。私のようなものに、温かい気持ちをいただけたことに感謝申し上げます。父の気持ちを引継ぎ、これからもたくさんの人々のために、何が出来るかを考え、生きてまいります。改めて両親との自立となりましたので、みなさまより今後も沢山の学びをいただけるよう、よろしくお祈り申し上げます。

会長 河野 聡
幹事 清水 将文
例会日/毎週月曜日 12:30~
例会場/トキハ会館 4F
TEL 097-532-0611
FAX 097-532-8386

会長スローガン
「友情を深め、心をひとつにして奉仕に向かおう！」
Email: oita1985rc@mist.ocn.ne.jp
ホームページ: www.oita1985rc.jp

2021-22年度国際ロータリーのテーマ
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI 会長 シェカール・メータ
RI第2720地区ガバナー 大森 克磨
大分第4グループガバナー補佐 坂元 宏行

■ 本日のプログラム (2月21日)

- 12:30 点 鐘
- 会 食
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ゲスト・ビジターの紹介 会長 河野 聡
- 会長の時間 会長 河野 聡
- 出席報告 出席担当 菅原 直美
- 幹事報告 幹事 清水 将文
- 委員会報告 「関係委員会」
- ニコニコタイム 姫野 勇人
- 13:00 株式会社LOL 代表取締役 福田 恭司様

■ 第24回例会の記録 (1月24日)

「大分県のスポーツの未来について」
大分B-リングス 代表取締役 森 慎一郎様

・出席報告 (1月24日)

会員総数	29 名
1 月 24 日	
出席免除	0 名
出席会員数	21 名
出席率	72.41 %
ゲスト	3 名
ビジター	2 名
1 月 6 日	
修正出席率	100.00 %

ロータリーソング	【奉仕の理想】
奉仕の理想に集いし友よ	めぐる歯車いや輝きて
御国に捧げん我等の業	永久に栄えよ
望むは世界の久遠の平和	我等のロータリー

* 今週のお祝い

- 在籍祝い 高野 太会員 (6年)
- シンジェホ会員 (1年)
- 阿南亜由美会員 (1年)
- 菅原 直美会員 (1年)
- 結婚記念日 高野 太会員 (2月7日)
- 吉良 昌一会員 (2月10日)
- 会員誕生日 柴山雄一郎会員 (2月9日)
- 姫野 勇人会員 (2月23日)
- 仲道 善隆会員 (2月27日)

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト：坂元 宏行様
(RI第2720地区大分第4グループガバナー補佐 大分南RC)

森 慎一郎様
(大分B-リングス 代表取締役)

テナコーン ムデイヤンセラージェ,
ニサンカ サミーラ テナコーンさん
(米山奨学生)

ビジター：片山 勇様 (大分臨海RC)
福田 梨沙様 (司法修習生)

例会の予定

- 2月28日 (月) 次年度地区補助金プロジェクトの 全員協議会 (1)
- 3月7日 (月) 地区補助金プロジェクトの 全員協議会 (2)
- 3月14日 (月) 創立記念例会 「割烹にしおか」
- 3月21日 (月・祝) 休会

ロータリー7つの重点分野

国際ロータリーは、100年以上の活動の中から、地域への変化をもたらし、世界平和に寄与することができ、持続可能な成果をあげられる分野として、以下の6つの分野に重点を置いて活動しています。

- ① 平和と紛争予防／紛争解決〔2月〕
- ② 疾病予防と治療〔12月〕
- ③ 水と衛生設備〔3月〕
- ④ 母子の健康〔4月〕
- ⑤ 基本的教育と識字率向上〔9月〕
- ⑥ 経済と地域社会の発展〔10月〕

これに加えて、最近、7つめの重点分野として加えられたのが、

⑦ 環境の保全

です。ロータリークラブにおける奉仕プロジェクトも、これら7つの重点分野のいずれかに該当するものとして計画され、グローバル補助金等もこれらの成果をあげることができるかどうかを判断基準として決定されます。

上記に〔〇月〕と記載したのは、国際ロータリーが毎月のテーマとして特にその月に取り組むべき課題を「ロータリー特別月間」として推奨しているものです。

2月は「平和と紛争予防」月間です。

ロータリークラブは、「世界の親善と平和の確立に寄与することを目指す団体」とされており、最大の目的は世界の平和です。それゆえ重点分野の筆頭に平和が掲げられ、その他の重点分野は、貧困を無くし、持続可能な社会を確立することによって、平和な社会への条件を作るための取り組みをするものです。

国際ロータリーでは、平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う機会を提供し、平和の担い手となる人材を育成するために、2002年に「ロータリー平和センター」を設立し、ここで学んだ1100名以上の「平和フェロー」が平和センターで学び、世界各国の政府、非政府組織、国際機関などで活動しています〔日本の拠点となっているのはICUです。〕。

国際ロータリーでは、武力紛争で命を落とした犠牲者の90%が一般市民であり、武力紛争や迫害によって4200万人が難民生活を強いられ、30万人の少年兵が紛争に巻き込まれている現状を変えるために、ロータリアンに「あなたにできること」を提唱しています。その幾つかをピックアップします。

- 1 社会から疎外され、暴力や迫害の危機にさらされた人々を支援する
- 2 紛争地帯を逃れた難民や国内避難民を救済する
- 3 貧困、不平等、民族間の緊張など紛争の根源的な要因に取り組む
- 4 理解と平和を推進するため、海外のロータリークラブとの友好を築き、奉仕活動で協力する。

世界で120万人のロータリアンがこのような理想を持ってロータリー活動をしていけば、本当に世界平和が実現するのではないかと思います。

ロシアにもロータリークラブはあり、中国にはクラブはありませんが米山奨学生中国学友会があります。困難な平和への道も、小さな1歩から築いていく、そんなロータリー精神は素晴らしいと思います。

2022年7月～2023年6月 高橋年度

会 長	高橋 道成
幹 事	門脇 啓二
S A A	河野 聡
副 会 長	坂本 肇
会 計	高野 太
理 事	クラブ管理運営統括・クラブ研修リーダー兼任 清水 将文
理 事	会員組織担当 大木 孝吉
理 事	公共イメージ担当 菊池 武司
理 事	奉仕プロジェクト担当 姫野 勇人
理 事	ロータリー財団担当 利光 勇一郎

<セミナー報告>

- ・1月29日（土）補助金管理セミナー Zoom開催
(高橋会員・門脇会員・利光会員出席)
- ・2月19日（土）地区チーム研修セミナー Zoom開催
(坂本会員・穂田会員出席)
- ・3月12日・13日PETS「会長エレクトセミナー」は、
オンライン研修へ変更。
3月12日（土）のみ一日開催（高橋会員出席予定）

大分B-リングス 代表取締役 森 慎一郎様

1. NPO法人七瀬の里Nクラブについて（通称：Nスポーツクラブ）
 - 2004. 4. 29に文科省モデル事業で県内3番目の「総合型地域スポーツクラブ」として誕生
 - 2004年 4月29日（みどりの日）Nスポーツクラブ設立総会『Nスポ25年構想策定』
 - 2006年 九州乳業敷地内にナイター付グラウンドの完成
 - 2007年 NPO法人七瀬の里Nクラブとなる。NPO法人化
 - 2010年 Nスポランド実現へ始動 土地の取得、農地転用
 - 2011年 専任指導員（トレーナー）の雇用 2名
 - 2015年 Nスポランド完成（18,000㎡の芝生グラウンド、360㎡のクラブハウス）
野津原地区内の農地（I種農地）をスポーツ公園化
グラウンドゴルフ、野球、サッカーが楽しめる芝生グラウンドの整備（180m×100m）
クラブハウスの建設（360㎡）フロア、喫茶室、トレーニング室、小体育室、シャワー室）
事業費 1億2000万円規模（自己資金4000万円、toto助成8000万円）
 - 2020. 12. 23 大分県プロ野球団（株）大分Bリングスを設立
 - 2021年 九州アジアリーグの開幕 14勝34敗



2. 大分県プロ野球団の誕生

野球人口（特に子ども）の減少が著しい。多様な原因が考えられるが、野球との触れ合いの場が減少していることが大きな原因。野球実施環境の減少、参加スポーツの多様化により野球の経済面、親の負担。

県民球団を設立し、子供だけでなく全年代に野球に様々な形『する』『観る』『支える』『語り合う』でかかわってもらい環境を提供したい。

我が大分県は多くのNPB選手を輩出し続けている。一方で、高校野球以降の受け皿がなく野球を断念したり、野球の為に県外へ転出する若者が多い。若者の夢実現をサポートし、挑戦する若者を受け入れ、大分県を活性化させる。

- ・「野球県おおいた」県民に夢と勇気を与え、子ども達の夢の実現をサポート
- ・NPB、MLB入団へ挑戦する選手の夢実現への環境づくりとキャリア形成
- ・大分県の貴重な人材として活躍する若者の育成

3. 大分県ジュニアスポーツの育成振興について

『学校部活動の課題』

中学生世代の指導者問題（教職員の労働時間の問題）、専門的部活指導者の不足（財政課題、不安定）
少子化による集団的スポーツの廃部（学校単位での活動が限界）、優秀選手の育成に陰
学校部活動が減少すると民間クラブチーム（営利志向）への入会が増える。（高額会費、営利主義）
民間クラブ中心になると教育的観点からの指導が難しくなる。
逆に部活動（無償＝教員の犠牲）の存在が地域スポーツの発展を阻害している。スポーツ界の悪循環

〔新組織の設立〕

- ・大分県ジュニア夢育成会 ※対象は大分県の幼児、小学生、中学生のスポーツ団体（メンバー）自治体（知事、市長）、教育委員会、県スポーツ協会、県スポーツ学会、総合型クラブ、（会員）競技団体、受け皿になるクラブ
- ・協賛企業のスポンサー料及び個人の寄付
- ・市全域をエリアとしたジュニアスポーツクラブの構築（中学生数500名～1000名を基準）

〔新組織の役割〕

- ・大分県ジュニアスポーツの指針、研究、情報発信
- ・大分県ジュニアスポーツの統括、振興、指導
- ・大分県ジュニアスポーツ指導者の研修、資格
- ・大分県ジュニアスポーツ指導者の登録、情報提供